

第1回学校運営部会 議事録

(1)日 時：令和5年5月19日（金）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2)参加者：委員（10名）（3名欠席）、事務局7名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

- ・学校運営部会の作業見通し
- ・特色ある教育課程の具現化について
- ・制服・体操服の選定について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（学校運営部会の作業見通し）

事務局 ・令和9年度のスムーズな新中学校開校に向けて、令和7年8年度は移行期間として中学校が統一となった時に違和感なく学校生活を送れるよう、3中学校それぞれが統一の教育課程等を実施していくということで、7年度の1年生が新中学校の3年生になる令和9年には、移行の完成を目指したいと考えている。また、この機会は単なる統合ではなく教育改革のチャンスと捉えて、基本計画に盛り込んだ特色ある教育を導入することにより生徒が主語となる教育を推進したいと考えている。これに向けて今日の部会では大きく2つの点について議論をしていただきたいと思っている。レジュメに戻ると特色ある教育課程の具現化についてが一つ目となっている。二つ目は制服・体操服の選定についてで、できるだけ多くのご意見のもと、方向性を打ち出したいと考えているので、活発な議論をお願いしたい。本日の流れとしては、まず事務局より全ての資料を説明させていただき、審議のポイントについて説明する。この時間を7時40分までの30分間程度を予定している。その後、小グループに分かれ2つの議題について議論していただきたい。この時間を8時20分くらいまで40分程度としたいと思う。最後に、全員にお集まりいただいて、全グループから出された意見をもとに方向性をまとめたいと思っている。よろしくをお願いしたい。

部会長 ・2時間ほどということなので、よろしくをお願いしたい。今の事務局の説明にご質問はどうか、ないようなら、ただいまの説明に従って協議を進めたいと思う。では、まず事務局より説明をお願いします。

（特色ある教育課程の具現化について、制服・体操服の選定について）

事務局 ・事務局より資料の説明を行う。最初の特色ある教育課程についての説明をする。基本計画では新中学校の特色として生徒を主語とする学校を打ち出すために5つの教育実践を重点的に進めることとしている。探究、ライフデザイン、中高連携、主体的な生徒会活動、ICTとこういったものを導入していくことでその特色を出していきたいと基本計画ではまとめている。これらの実践を具体的に進めるためには、生徒の時間を確保できるような校時表とする必要がある。資料1をご覧ください。資料には現在の3中学校と勝山高校の短縮校時と通常校時の校時表をまとめたものがある。この校時表をご覧

いただきながら新中学校を作った時にどのような校時表がいいのかを考えていたが、議論の前提としてご理解いただきたいことがいくつかある。まず、一つ目は始業時間である。現在、南部中学校と北部中学校は8時30分始業、中部中学校と勝山高校は8時40分始業となっている。新中学校になると市全域からの登校を配慮した始業時間にすることが必要がある。過日、先生方に集まっていただいてワーキングチーム会議を行ったが、始業時間はある程度余裕を持たないと遠方からの登校に間に合わないということで、勝山高校に合わせて8時40分がいいのではないかとのご意見をいただいている。今、バスでの全域からの登校を考えているが、そのことを考えると、1時間目が始まるのが8時40分だと、学校に入るのが8時20分くらいになるかと思う。その30分前となると7時50分くらいには遠方の子がバスに乗るという状況を想定している。そのあたりが妥当かと考えているが、このあたりについてご議論いただきたいと思っている。次に二つ目は下校の方である。放課後の子ども達が部活動に入っていくとか、教職員の勤務時間を考えると16時以降に何らかの授業を入れていくことは難しいと考える。8時40分くらいから16時くらいまでの間をどう区切っていくかということでもいいのかということも前提として議論していただきたいと考えている。この中に特色ある教育を入れ込もうと、現在3中学校はそれぞれの方法で試行を行っているが、その中で勝山中部中学校が新たな取組を試行している現状なので、その取組を紹介させていただいて、その取組について皆さんからご意見をいただきたいと考えている。勝山中部中学校は、令和4年度より先行して月曜日の授業を中学校は50分授業というのが通常だが、それを45分の授業にすると45分にして5分間の余裕を持たせることで、その1校時から6校時までで、5×6の30分の余裕が出てくる。その30分を使って生徒が主体的に活動できるプロジェクトタイムという名前をつけて、こういった時間を確保するという取組を行った。令和4年度の反省として、45分と50分の授業が混在すると、非常に子どもが混乱することがあったので、今年度は全ての授業を45分として混乱をなくし、6時間目の後ろに30分のプロジェクトタイムを設定した。6時間目に総合的な学習とか学級会とか道徳を設定して、それに30分間の授業をくっつけるということで、全部で75分から80分ぐらいの大きな時間帯が確保できる。そこを毎日の総合とか学級会とかにとらわれずに、学年なり、学級なりの都合に合わせてやっていく。例えば年度の初めは学級作りが大変必要になってくるので、そのあたりを全部学級会にして子ども達の学級作りにあてるとか、遠足とか修学旅行の事前学習で調べ事とか企画を練るときには全て総合の形にしてその時間を使うという柔軟な扱いができるように工夫しているのが、今年度の取り組みである。1時間目から5時間目までの授業が45分になるが、それを欠かすことなくきちっと授業をしていくことで、子ども達の安定的な授業の使い方を図っている。ワーキングチーム会議において、中部中の教員からは授業が5分間短くなるので授業の遅れが出るのではないかとということも危惧したが、そういったこともなく現在順調に進行している。また、子ども達が修学旅行に行っているがその事前準備として積極的な調べ活動もできて順調であるという報告を受けている。ただ、勝山高校が今50分授業で動いているので、将来的

に1校になったときにはそのあたりの擦り合わせも必要ではないかというご意見もいただいている。また、生徒の主体的な生活の習慣化を目指して、これまで日記型の生活ノートをつけていたが、マイプランニングノートという名前で、子ども達が1日のスケジュールを記録しながら、自分の生活の在り方を振り返る活動も取り入れ始めた。このプロジェクトタイムとマイプランニングノートは、勝山高校では勝高タイム（KT）と呼んでいるが、KTとか今未来ノートで、よく似た活動を勝山高校でも実施されているので、つながっていくといいのではないかと実践をされている。ただ、中部中学校も始めて1ヶ月半ほどしか経っていないので、今後の成果や議論を踏まえて協議を進めることとしたいが、委員の皆様方には、中部中学校の45分授業にプロジェクトタイムを合わせるというやり方とか、マイプランニングノートを導入していくということについて、新中学校の特色を出す方法としていかがかと、感想と合わせて評価いただければと考えている。

次に中高連携について説明する。資料2をご覧ください。今年度の3中学校の年間計画と、それから勝山高校の年間計画を合わせたものである。3中学校は令和3年度から行事計画を揃える努力をしてきた。いろいろなことを変えるには準備が必要なので、この議論を踏まえて、来年度には修学旅行や体育祭や文化祭は全ての中学校が揃うことになっている。参考までに見ていただくと、5月に中部中学校と南部中学校は修学旅行が入っていて、北部中学校は9月に修学旅行が入っているが、来年度は北部中学校も同じような時期に修学旅行を行うという予定をしており、体育祭は北部中学校が5月にやっていたものを9月に持って行って足並みが揃うような計画になっている。3中学校を揃えた上で勝山高校とどのように連携していくかということが必要である。9月のはじめには勝山高校の体育祭や文化祭があるし、8日9日あたりには中学校の文化祭や体育祭が実施される形になっている。このあたりでの交流も考えられるかなと思うが既に今年は勝山高校から様々なご提案をいただいている。資料3をご覧ください。今年度勝山高校が企画されている中高連携に関する行事である。従来行事に加えて、7月13日には学びの祭典という企画をしていて高校3年生の探究活動の発表会を中学生がオンラインで視聴できるようになる。中学校も現在まだ計画だと思うが、学校祭等で子ども達の調べたものを発表するところに勝高生がアドバイザーとして来ていただいて、その発表について意見をもらうということも企画中である。学校の企画についてはそれぞれの学校が設定することになるが、こういった形で連携をしていくことについて委員の皆様方からご意見をいただいて、さらにこのような連携をしていくといいとか、こういった面でも連携をしていく必要があるという意見があったらいただいて、学校に伝えるとともに、新中学校の開設時に連携の効果が上がっている形に持っていきたいと考えている。以上は学校の教育課程の話なので、保護者の皆様方にはなかなか理解しにくい部分もあるかと思うが、後ほどの小グループでの議論の中で学校の先生方も加わっていただくので、理解を深めていただければと思う。

次に制服と体操服の選定方法について説明をする。資料4をご覧ください。現在3中学校が指定している制服と体操服をまとめたものである。体

操服は3中ともデザイン、価格ともにバラバラで、メーカーも北部中学校と中部中学校は同じメーカーだが、南部中学校は別のメーカーから購入している。制服は3中共通のもので、リボンやボタンなどで違いを出しているという現状になっている。制服については決して悪いわけではないのだが、課題として、冬場に女子がズボンを履けない、雪の中でもスカートで寒い思いをしているとか、いわゆるジェンダーの視点から女子のズボンの必要性もあるということで議論をしてきた。以前は女子のズボンもあったが、子ども達になかなか人気がなく物が出ずに結局商品自体がなくなってしまった。そこで、昨年度の校長会の中ではこれを履きたいというものを持ってきてもらって、よければ認めていくという線を出しているが、今後どうしていくかについては課題になっている。多くの学校がアンケートを実施し、児童や生徒の保護者の意見を参考にしている。制服が必要かどうかも議論していただきたいが、ワーキングチーム会議の中の意見では、制服があった方がいいのではないかとご意見をいただいているし、選定にはアンケートをした方がいいのではないかとご意見もいただいている。南越前町だが、同様にこういった専門委員会の中で案1、案2、案3を原案として議論をされた。3中が再編されたわけだが、案1は今使っている男子の詰襟は一緒だから、セーラー服をどこかに合わせてはどうか、案2は全く違う新しいものを選んでどうか、案3は詰襟やセーラー服ではなくて、もっと広くブレザー型とかいろいろなものを聞いてはどうかというようなことを原案として議論されたようだ。そして実際にどうしたかという男子は詰襟、女子はセーラー服にするが、新しいセーラー服を決める案2の形で議論を進められた。実際にアンケート自体を見るとブレザーはどうですかということも聞いていて案2を進めると言いながら、アンケートをする段にはブレザーも含めており、意見を幅広く聞いている状況になっている。同じく体操服の方も南越前町の例だと、案1、案2があって、案1はいろいろ素材等にこだわるものの一新しい方がいいのではないかと、案2は3校の中のどこかのものを1つ選んでそれに合わせたかどうかということも原案に議論されたようである。実際には一新をするということをもとにしてアンケートを実施して議論を進められた。制服が必要か必要でないかを考えるときに、ユニクロの制服はどうなのかというご意見をいただいた。これは金銭的な面で安く上がるということで調べた。ユニクロが出している制服というのは制服としてあるわけではなくて、そこに売っている商品を制服に指定するというようなやり方をしている。売っているものなので、商品がなくなったら終わりで型変わりしたら物も変わる。制服というと一つのものに決まっていてそれをずっと着るが、基本は自由服にする、ただ自由にするとなんを着ていいかわからないので、こんなのでどうかと指定してあるようなもの。先行して導入した学校を見ると、結構バラバラなものを着ているというのが現状のようだ。このことも議論の中に入れていただいて、基本は制服を決めるのかどうか、それからこういう中間的な奨励服的なものでいいのではないかとかもう完全に自由でいいのではないかとか、そのあたりをまず大前提として考えていただいて、制服として何かを決めるとすればどうやって決めていくのかアンケートをするのか一定のものを絞って決めていくのか、制服を入れるか入れないかもアンケートをするの

	<p>か、そのあたりも合わせてご議論いただいて、このように決められたらいいのではないかとご提案をいただきたい。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明について質問はどうか。
委員 1	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の1番の始業時刻下校時刻という考え方だが、今からグループに分かれて話し合う時に、始業時刻というより1校時の開始時間としていただく、下校時間というのも曖昧なので、6校時の終了時刻は何時頃が適切かというように統一してはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議論の決め方が曖昧になってはいけないので、ご提案いただいたように、1時間目の始まる時間は何時ぐらいがいいのか、6時間目の終わる時間は何時ぐらいがいいのかと統一してご議論させていただきたいと思う。
委員 2	<ul style="list-style-type: none"> ・勝高から一番遠いところが坂東島か岩ヶ野小矢谷、中部でいうと薬師神谷で野向の奥になる。スクールバスの検討をしていると思うが、想定時間がある程度分かっているならバスの時間もある程度分かった方が始業時刻の参考になる。先ほど7時50分に家を出ると言ったが、今の中学生からすると20分ぐらい遅くなる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今ルートもいろいろ検討しているが、大体バスに乗車している時間は30分程度までで、それを超えるのは生徒に負担がかかるのではないかと考えている。バス停に行くまでどうするか。家を出る時刻に関しては、例えば7時40分にバスが出発しても30分かかると8時10分になる。7時40分のバスに乗ろうと思うと、家を何時に出ればいいのかということになるので、バス停までの距離にも影響してくる。そんな考えでいいか。まだ確定にはなっていないが、一つの日安としては、バス乗車は長くても30分くらい。
委員 3	<ul style="list-style-type: none"> ・薬師神谷だと普通のコミュニティバスなら30分で楽に着く。普通の車だったら12、13分。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりしたことがまだ決まっていないが、そのあたりを参考に何時くらいにするといいかをご検討いただきたい。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・30分以内で寄っていくところが多くなれば30分で来れないので2便にして寄るところを変えるとか、とにかく最長で30分くらいに抑えようということか。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの件はよろしいか。他に質問はいかがか。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・中部中学校が50分から45分授業にされたと聞いているが、実際その決まりを見ると、1年間680時間一定基準の授業を受けなければいけないという中で変えたものが基準を満たすのかどうか、そのやり方で良いのであれば授業はどんな時間でもいいのか。例えばこれをもっと短くして40分授業とか35分授業としたときのデメリットとかがあるなら教えていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中部中学校が県下で初めてやっているわけではなく、他にもやっているところがある。高校でも藤島高校は45分授業でやっておられる。高校とは少しやり方が違うが、中学校の場合は50分授業を1コマと数えると、45分は0.9コマということになる。0.9コマでずっとやっていくと当然数が足らなくなるが、先ほど申し上げたプロジェクトタイムは30分あるので、それが0.6コマという数え方ができる。そうすると、授業として1時間目というのは45分になるがその後ろにある30分の部分でいろいろ勉強しているわけで、その部分をカウントしていけば、1015時間という時間が年間で決まってい

て、その時間は十分クリアできるということになる。例えばプロジェクトタイムに全部総合とか道徳とかを入れるとその教科ばかりが多くなるので、一斉漢字テストとか教科の勉強もそこに入れ込んでいく。そういうふうに計算をしながら工夫していけば国語の時間もきちんと確保できる。ただし、先生が前に立って国語の授業ですという形とは少し違うが、国語の授業としてはやっているという形でクリアできる。総数としては当然クリアしているわけなので、その割り振り方を少し変えているということになる。おっしゃる通り 30 分授業をするというのはできないわけではないが、子ども達の授業の集中度から、校長先生方からも聞いていただければと思うが始めたと思ったら終わりというのは少しやりにくい。逆に 90 分授業は例えば美術の絵を描く時に中途半端に区切るよりは長い時間を取った方がいいということもあるので、そのあたりはいろいろ工夫をしてきちんとカウントしていくことで必要なことをやっていくということが大事なのかと思う。

部会長 ・この後グループに分かれるので、疑問を持ったままグループに分かれても話がしづらいところもあるかと思うので、先ほどの事務局の説明でもう少し聞きたかったということがあったら、遠慮なく聞いていただく方がいいかと思うがよろしいか。このグループに分かれた後も事務局の方々もそれぞれに分かれていると思うので、そこでお聞きいただくということをお願いしたい。では事務局から願います。

事務局 ・グループに分かれて協議をお願いしたい。名簿の名前の右側にグループとして、A,B,C と事務局の方で振り分けさせていただいているので、ご確認をお願いしたい。Aグループはこの部屋でお願いしたい。Bグループは第2研修室、Cグループは第5研修室になるので、この後移動いただくようお願いしたい。各グループの司会進行は、○の印がある方をお願いをする。部会長には、オンラインでAグループの方に参加いただく。各グループで話し合いの結果を最後に報告いただきたいと思います、星の印をつけさせていただいている方々をお願いしたいと思うので、どうぞよろしくをお願いしたい。今から大体 8 時 20 分頃まででお願いしたいと思うので、8 時 20 分頃になったらこの部屋に集まってほしい。では移動の方をお願いする。

(グループでの話し合い)

部会長 ・グループ協議お疲れ様だった。全体協議に移るということで、各グループで協議いただいた内容について順をお願いしたい。Aグループから A,B,C の順にご報告をお願いしたいと思う。

委員 6 ・Aグループから発表させていただく。まず特色ある教育課程の具現化についてだが、始業時刻に関しては、勝高と合わせて現状の 8 時 40 分くらいが妥当ではないのかという案が出た。中身に関してはまだこれから検討が必要で、午後はどうまくすると勝高の時間と合わせて掃除を移動させたりすると合わせられるのではないのか。終了時刻はだいたいどの中学校も 3 時から 3 時 30 分の間ということで、それくらいが妥当ではないのかという意見が出た。その次に、プロジェクトタイムとマイプランニングノートのことについてだが、プロジェクトタイムについては、先生方は使い勝手がいいのではないのか、いろいろ計画を立てて行動するので使い勝手がいい、ただ探究の方面に関しては先生方も準備が必要でなかなか難しいのかな。探究というのは

生徒が自分のために自分で考えられる時間づくりということで、そのようにプロジェクトタイムを発展していくことができればいいのではないかという話もした。マイプランニングノートの導入については、生徒が今書くことが大変なこともあるというので、書くことが目的ではなくてこういう考え方を習慣づけられるといいということで、パソコンへの自分が使いやすい形への発展ができたらいいのではないか。今の時代にあったツールになっていくと、将来的に子ども達が成長したときにそういう習慣がついていていいのではないかという話が出た。中高連携については、中学、高校とも時間を見つけて連携していけるといいという話が出た。制服については、原則的に制服ありなし、どちらも自由に選べるような形がいいのではないかという話が出て現行の中学校でも一度制服を着てきてもいいし、自分の思うような服を着てきてもいいようなそういう日を作って行って見て生徒の反応とかを見てみるのはどうかという話が出た。

委員 7 ・ Bグループ。1時間目が始まる時間は8時40分からでいいのではないかという案が多かった。ただ、子どもを残して仕事に出ないといけないので8時20分くらいがいいという意見もあった。6時間目の終わる時間は皆さん3時30分くらいがいいということだった。制服については、ジェンダーを考えるなら、女子はブレザーのほうがいいかな、ズボンとブレザーのほうが合わせやすい。中高一貫を考えるなら、勝高に似たような制服にしてもいいという案があった。全員制服は必要だということである。選定方法は、子どもと保護者にアンケートを取って結果を踏まえて数パターンを考えて、もう一度アンケートを実施するという形がいいのではないかということだった。プランニングノートに関しては、例に出ているのは少し細かいのもう少し簡易的なもののほうがいいのではないかということだった。

委員 8 ・ Cグループだが、校時表と制服体操服の選定について話をさせていただいた。校時表については現状のままというような話もあれば、逆に9時スタートというような形で少し遅らせたらどうか、中学校の授業等も少し詰められるものは詰めたらどうかというようなことが出ていた。制服の選定については、Bグループと同じようにアンケートを取っていただくということで話が出ている。中身的には少し違うが、制服もしくは中間服もしくは制服なしも含めて幅広くタブレット等を利用して少しでも手間が少ないような形でアンケートを取ってはどうかという話もあった。

部会長 ・ 今、それぞれの報告を聞かれてそこを少し知りたいということはないか。

委員 9 ・ 一つよろしいか。Aグループ、Bグループの方でもお聞きしたいのだが、ジェンダーレスの対応はするという方向で話があったということによろしいか。

委員 10 ・ Bグループだが、こんなご意見が出た。女の子がズボンをはくというもちろんそれもOKだが、男の子がスカートをはきたいといった場合にもそれもOKだといろいろな意味でジェンダーレスにしてはどうかという意見も出ていた。

事務局 ・ B、Cはアンケートというご意見をいただいている、Aはアンケートを取らずにいこうというような形になられたのか。

委員 11 ・ 制服が必要か必要ではないかという議論で終わっているというか、アンケー

トを取るにしても何にしても意見がバラバラだったので悩んでいたら、東京の桜ヶ丘中学校のお話を受けてなぜ日本は一つに決めたがるのか、混在していてもいいのではないかと。制服は決める。決める制服を着て来てもいいし私服で来てもいいという形はどうかとご提案をいただいてなるほどというところで話が終わった。その後、その制服をどう決めるかという話にまでは実際に至っていないという状況である。

委員 12 ・ Bグループからこれも出た意見の紹介だが、まず詰襟がいいか、ブレザー系がいいかについて子ども達とか保護者の意見を聞く。それでだいたい決まってくる。ブレザーが多かったらブレザーの中でいくつかのパターンの候補をお示しして、また子どもや保護者にどの制服が着たいと思うかを聞く。そうやって絞り込んでいくやり方もあるという意見があった。

事務局 ・ 事例で申し上げますと、詰襟がいいですか、ブレザーがいいですかということについて、他の地区を見ると今のままでいいというのが6割くらいになる。おそらく今アンケートを取るとそのようになるだろうと思う。違うのは、ジェンダーのことに重きを置いてアンケートを取るのか、何もなしにするのかで結果が変わってくると思う。そのところをいわゆるジェンダーフリーというかLGBTQとかも含めて、ある程度前提として取っていくべきなのか、フリーに取っていくべきなのか、そのあたりはどんなものか。A,B,Cそれぞれ教えていただければと思う。

委員 13 ・ Cグループの中では、ジェンダーに配慮してアンケートを取った方がいいという意見にまとめていいと思っている。

事務局 ・ Bはどうか。Aはそこまでいっていないということだった。

委員 14 ・ ジェンダーを考えての話し合いが多かったかなと思うので、ジェンダーの方を考えて選定をしていけばいいと思っている。

部会長 ・ もうよろしいか。他に質問はないか。始業時間とかプロジェクトタイム、そして中高連携とか制服について、今日は各グループで話をさせていただいて今報告があった。各グループの報告を踏まえてまた事務局に考えていただくことになるかと思う。一致した方向性は、始業時間では出てきたのかなと思うが、考えていただけたらと思う。

今日は最初から話を聞きながら感じたことを述べさせていただいてよろしいか。事務局からいただいた資料では方向性をまとめると書いてあるが、まとめどころか全然バラバラな方向に持ってってしまうかもしれない。今日冒頭の説明の中で教育改革のチャンスだという言葉があったかと思う。まさしくそうだと思うし、生徒を主語にする学校という言葉もあった。これは前回そのことをお伝えしたし、現在も同じような気持ちでいるが、今までのいただいた資料とか逐一細かく見ているわけではないのでもしそうでなかったらお許しいただきたい。今までの議論とか資料の中には生徒の姿が見えないなと思っていて、全部大人が準備して大人が作って、大人が段取りして、大人が決めた枠に子ども達がまっついていくというかはまりなさいという感じを印象として受けるので、違ったら言ってほしい。先ほど説明いただいた世田谷区立の桜ヶ丘中学校は枠を生徒に合わせて変えていくという学校だった。西郷という校長が学校に行ったときは、週1回はパトカーが来る非常に荒れた学校だった。そもそも生徒たちにいろいろ話を聞いていくと、なぜ

校則では靴下が白でないといけないのかというところから始まって、黒でもいいのではないか。教員の中には白に決まっているということを出す生徒指導部長がいて、なぜ白に決めたのか、誰が決めたのか、なぜ決まっているのか。だいぶ時間をかけて黒でもいいことになった。黒がいいなら紺は、だんだんルールの色が変わって行ってそれを皮切りにルールをどんどん見直して行って、最終的には校則をなくした。ルールとしてあるのは一人一人違うということをお互いに認めること、そして他の人を傷つけないことの二つだけ。そのような学校になってから、中学校に入ってから不登校の子はゼロ。3年間を楽しい学校にしようということが始まって動いたことで、辛いルールがないので学校に行きたくないというのがない。小学校の時に不登校の子でも、中学校に1回でも学校に来るとその子は不登校ではなくなっていくという学校である。その学校は、一応原則制服はあるが何を着て来てもいい。体は女性で中は男の子という子は、当然制服は詰襟を着ているし、逆に体は男の子でスカートを履いてきてる子もいた。県立高校の校長先生にはだいたい各学校に数名はジェンダーというか、LGBTの子がいますと思った方がいいとお願いした。勝山の子たちにも、必ず各中学校にすでに数名はいると思っていた方がいいのかなと思うので、それを意識しながらその子たちも辛くないような制度を考えていただいた方がいいのかなと思う。枠組みは枠組みで前も申し上げた勝山の子たちをどんなふうにしたいのか、今やっていること決めようとしている制度とかルールがそれに向かっていっているのかを、いつも事務局は確認をしていただけるといい。県内の先行例を参考にすることはそれでいいが、それを参考にしているとそれを越えることができなくなるので、本当に参考程度であって、それにこだわる必要、縛られる必要はないかなというふうにも思うのでよろしくお願ひしたい。自分が生徒だったらと思わずずっと説明とかいろんな場面で自分が生徒だったらといつもそう思いながら聞いている。バスの説明があって、バスはバスでいいが、中高生は意外と精神的にというか、神経が細くて下痢になったりする子がいる。バスの時間が近いと言って、例えばそこでお腹が痛くなってトイレに行ったらバスが行ってしまっただけで、その子はその日は学校に行けないということか。それもぜひ考えていただけるといい。自分が生徒だったらその可能性はあるなと思う。近くの子はいいが非常に遠い子はそれでも歩いていくのか、そういう時は自転車であればいいとなっているのかどうかはわからないが、デマンドのタクシーが来てくれて乗せてくれるなら、それはそれでありがたいと思った。バスというのもいいが、そのあたり生徒の立場になって、その枠組みが果たしていいのかどうかをお考えいただけたらと思った。アンケートも一緒に何のために取るのか。証拠作りのために70%はいいと言っているから、これでいくとあとの30%は知らないということで、それに従えということやろうとしているのか、少しでもこういう意見もあるというのを拾おうとして、制服が嫌だと言っている子が何名かはいるから、その子たちを切り捨てず、その子たちの意見も入れていくとどうなるのかというために取るのか、それもぜひお考えいただけると嬉しい。一人一人の子ども達が学校に行きたいなというか、楽しいなという学校にぜひしていただきたい、それを目指して事務局のほうも頑張っていると思うので、本当にご苦労様だなと頭

が下がるが、ぜひその視点を持っていただけるといい。これだけ資料を作ったのだから、あとはこれでやるではなくて、ぜひ子ども達を主語にとおっしゃっているので、子ども達の視点で考えていただけるといい。長くなったが、以上で事務局をお返りする。

事務局 ・今日はいろいろな意見をいただいて、子ども達のための学校をつくりたいという思いから始まっていると思うので、常にそういったところを振り返りながら考えていくことが大事だなと思った。校時表の内容とか中高連携のあり方についてたくさんご意見をいただいた。各グループに事務局も入っていたので、意見は学校の方にもお伝えさせていただく。学校の今後の取り組みというのも注目していただきたいと思っている。制服体操服についてはご意見をいただいたので、総務部会にもかけていきながら、具体的に決めていけたらと思っている。次回は7月中ごろに部会をさせていただきたいと思っている。日程調整を含めて改めてご案内させていただくので、どうぞよろしくお願いしたい。以上で今日の学校運営部会を終了させていただく。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

資料1：勝山市内三中学校と勝山高校の校時表

資料2：令和5年度 勝山市内3中学校と勝山高校の年間行事

資料3：中高関連行事一覧

資料4：勝山市内3中学校の制服・体操服